

令和五年度 公共政策学部

学校推薦型選抜 小論文

〔注意〕

- 1 机上に受験票を提示しておくこと。
- 2 監督者の指示があるまで、この冊子を開いてはいけない。
- 3 解答用紙すべてに受験番号・氏名を必ず記入すること。受験番号・氏名が記載されていない答案は無効となる場合がある。
- 4 この冊子は問題用紙（一二頁）・解答用紙（三枚）からなっている。
- 5 落丁・乱丁および印刷が不鮮明な箇所があれば、手をあげて申し出ること。
- 6 解答は必ず解答用紙の指定された箇所に、縦書きで記入すること。
- 7 解答作成の際、句読点・カッコは字数に含めること。
- 8 試験開始後六〇分を経過しないと退室できない。また、試験終了前一〇分間は退室できない。

退室するときは、手をあげて申し出た上で、試験監督者の指示に従うこと。

なお、解答用紙は机上に置き、その上に試験監督者が配付する用紙を重ね、問題冊子と下書き用紙は持ち帰ること。

— 次の文章を読んで、あとの設問に答えなさい。

(著作権の関係で不掲載)

[六〇点]

(著作権の関係で不掲載)

(著作権の関係で不掲載)

(著作権の関係で不掲載)

注

*1 一九七四年(昭和四九年)に、東京都千代田区の三菱重工東京本社ビルが爆破された無差別爆弾テロ事件。同社社員と通行人に、八名の死者と多数の負傷者が出た。

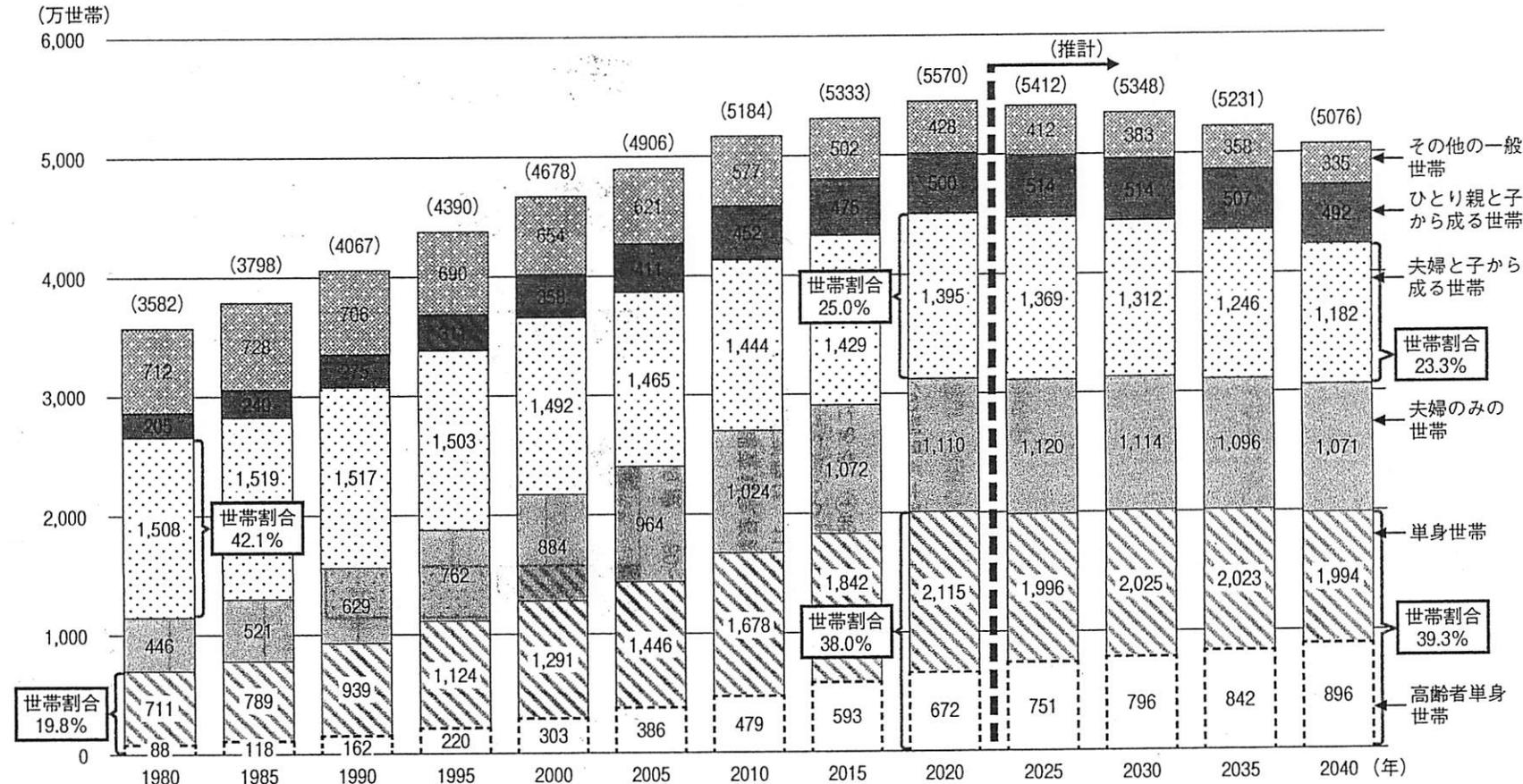
(出典) 山本七平 『空気』の研究』 文藝春秋、昭和五十二年。
ただし、出題の都合上、原文の一部を変更した。

問一 傍線部「^①」には、著者のいう「差別の道德」の定義が書かれている。前後の文章から推測して「^①」に入る文章を記述しなさい。(二〇〇字以内)

問二 「空気」が話し合いや集団的意思決定、ひいては民主主義に与える影響を述べたうえで、それに対するあなたの考えを述べなさい。(六〇〇字以内)

II 次の三つの図から読み取れることをまとめた上で、今日における日本社会の問題・政策課題について考察を加えなさい。
 (七〇〇字以内) 〔六〇点〕

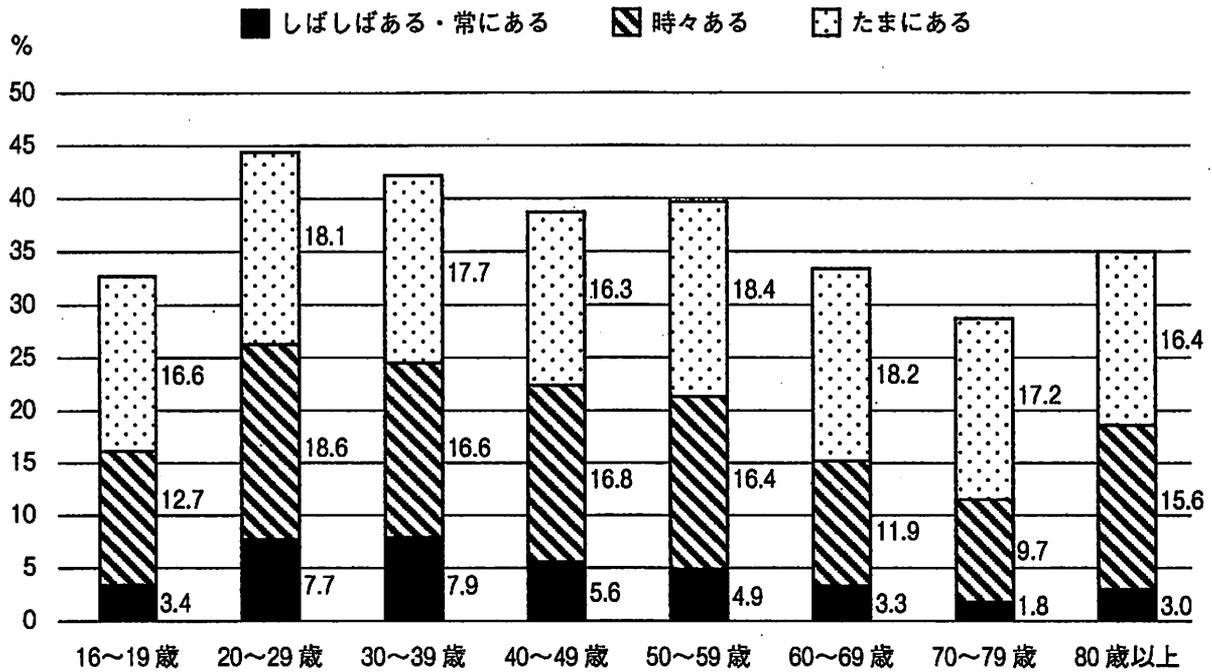
図 2-1 日本の世帯数推計



(注) 1. グラフ中の () 内の数は、各年の総世帯数、「世帯割合」は、各年の総世帯数に占める当該世帯数の割合を示す。
 2. グラフの中の破線内の数は、単身世帯の中の高齢者単身世帯数である。

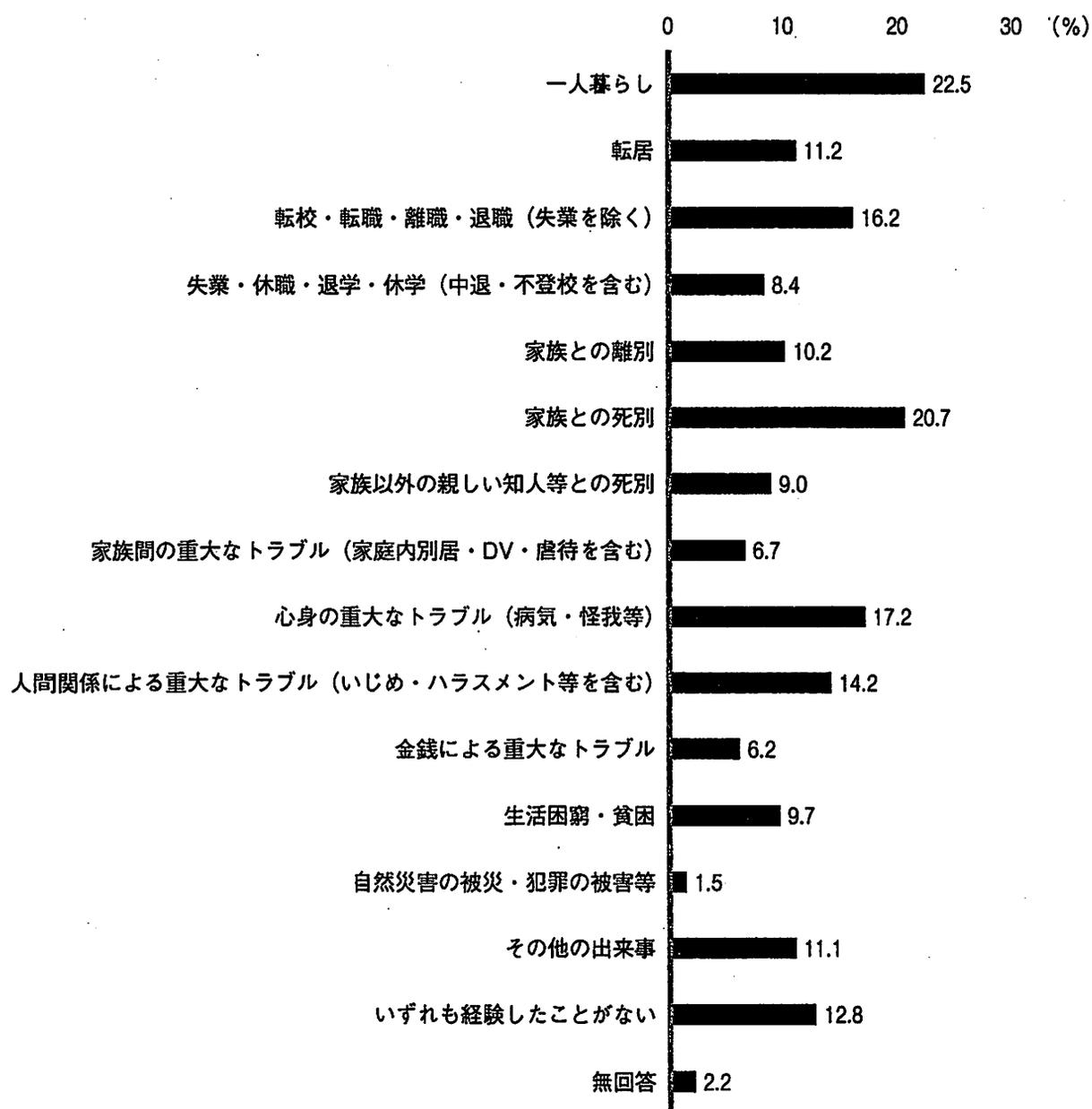
(出典) 国土審議会計画推進部会・国土の長期展望専門委員会『「国土の長期展望」中間取りまとめ』(2020年10月)と2020年に実施した総務省「国勢調査」をもとに作成した。ただし、出題の都合上、一部改変した。

図 2-2 年齢階級別にみた孤独感を感じる人の割合



- (注) 1. この調査の対象は、全国の満 16 歳以上の個人で、調査対象者数は 20,000 人（住民基本台帳を母集団とした無作為抽出法により選定）である。有効回答者数は、11,867 人である。
2. 具体的な設問は、「あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。（○は一つだけ）」であり、①決してない、②ほとんどない、③たまにある、④時々ある、⑤しばしばある・常にある、が選択肢になっている。
3. この図は、選択肢の③、④、⑤に○をつけた人の割合を年齢階級別に示したものである。

図 2-3 孤独感を感じる人がその状況に至る前に経験した出来事



- (注) 1. この図は、図 2-2 で③、④、⑤に○をつけた人だけの結果を示している。
 2. 設問は、「その状況に至る前に経験した出来事をお答えください。(○はいくつでも)」であり、選択肢は、図 2-3 にある項目である。

(出典) 図 2-2・図 2-3 いずれも内閣官房孤独・孤立対策担当室「人々のつながりに関する基礎調査 (令和 3 年) 調査結果の概要」(2022 年 4 月) をもとに作成した。
 ただし、出題の都合上、一部改変した。

三 次の文章を読んで、あとの設問に答えなさい。

[六〇点]

(著作権の関係で不掲載)

(著作権の関係で不掲載)

(著作権の関係で不掲載)

(著作権の関係で不掲載)

注

*1 追跡、追尾を意味するトラッキング (tracking) から、Webサイト閲覧やアプリ利用状況などのユーザー行動を追跡・分析する技術のことを指す。

*2 Time (時間)、Place (場所)、Occasion (場合) の頭文字をとってつくられた造語。当初、時、場所、場合に即した服装をすべきという意味合いで使われたが、それ以外の場面でも使用されるようになっていく。

*3 今この瞬間の自らの精神状態に深く意識を向けること、またそのために行われる瞑想を指す。ストレス軽減や集中力の向上に役立つ心的技法と見なされる。mindfulness。

(出典) 堀内進之介『データ管理は私たちを幸福にするか? 自己追跡の倫理学』光文社新書、二〇二二年。

ただし、出題の都合上、一部改変した。

問一 筆者が、傍線部において「能力の単純な向上・増強では十分ではない」と述べるのはなぜか、本文に即して説明しなさい。(三〇〇字以内)

問二 人間と技術の関係についての、筆者の見解に対するあなたの考えを述べなさい。(五〇〇字以内)